

# 最新クルーズフェリーで行く鹿児島クルーズ報告書

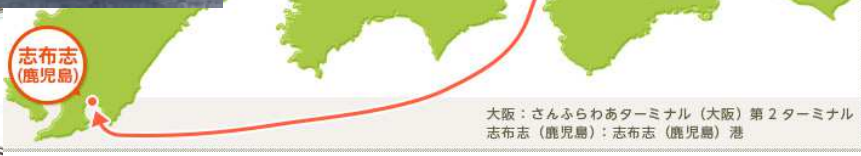


2泊3日 船中2泊

2021/9/27-29

大阪港・万博地視察+大阪発志布志往復

## 大阪大学国際公共政策研究科赤井研究室



大阪：さんふらわあターミナル（大阪）第2ターミナル  
志布志（鹿児島）：志布志（鹿児島）港

### スマート・クルーズ・アカデミーの趣旨

#### ★学生の論理的思考向上の場

船上でしか味わえない、見渡す限り何も無く、それぞれが集中してやりたいことに打ち込める洋上の素晴らしい環境で、国際関係や地域発展についての社会課題について議論し、船内、寄港地にて国際感覚のより一段の向上を図る。

#### ★クルーズ振興に向けた新たなマーケットニーズ構築の場

大学生がクルーズを体験し、若い世代からの視点で、将来のクルーズマーケットを熟成する。体験を踏まえて、日本の港湾戦略、寄港地の分析、日本の観光のあり方を議論し、自由に事業・政策提案する。

### スケジュール

#### 9月27日（月）

- 13:40 大阪市営地下鉄大阪港駅西改札（海遊館方面の改札）に集合
- 13:45 国土交通省大阪港湾・空港整備事務所とともに、大阪港夢洲プロジェクト視察  
（次ページ参照）
- 14:45 WTCビル1階吹き抜けロビーに集合
- 15:00 **大阪港湾局+船社意見交換会**@大阪府咲洲庁舎（旧WTCビル）41階会議室
  - ・大阪港湾局からの大阪港概要説明（20分）
  - ・さんふらわあからの概要説明(20分)
  - ・意見交換(20分)

## スケジュール (つづき)

～乗船手続き、本船へ移動～

16:15～16:45 船内見学(見学のみの方は下船)

フリー：休憩+散歩+入浴・シャワーなど

17:55 大阪港出港見学@甲板 船社スタッフが見送り

18:30～19:30 夕食タイム：レストラン

19:30-20:30 フリー（入浴など）

20:30～21:30 本船事務長との意見交換会(記念撮影)+プチゼミ

### 9月28日(火)

6:30～08:45 朝のお風呂

7:20-8:00 朝食タイム

8:30 志布志港入港見学@甲板

<船内吹き抜けで集合後下船+各自フリー>：荷物は下船後、港のカウンターで預ける。

参加推奨：さんふらわあライナーで、鹿児島県内へドライブ

<11:00 鹿児島到着 その後散策 14:40 鹿児島市内発 16:40 志布志港着>

16:50～17:30 乗船後、国土交通省志布志港湾事務所長より、志布志港の役割について説明

17:55 志布志港出港見学@甲板

18:30 夕食タイム

19:15-20:00 交流タイム

20:00-20:30 入浴タイム（展望大浴場営業時間：乗船～20:30 まで）

台風を避けるため、北上して、瀬戸内海を航行

### 9月29日(火)

4:30 しまなみ海道通過

6:40 瀬戸大橋通過

8:00 朝食バツフェ 明るい中での食事は、海も眺められて贅沢

いつものメンバーではないメンバーで着席して交流

9:00-9:50 ツーリストのお部屋をミーティングルームとしてお借りし、

自己紹介や旅の思い出を語り合う

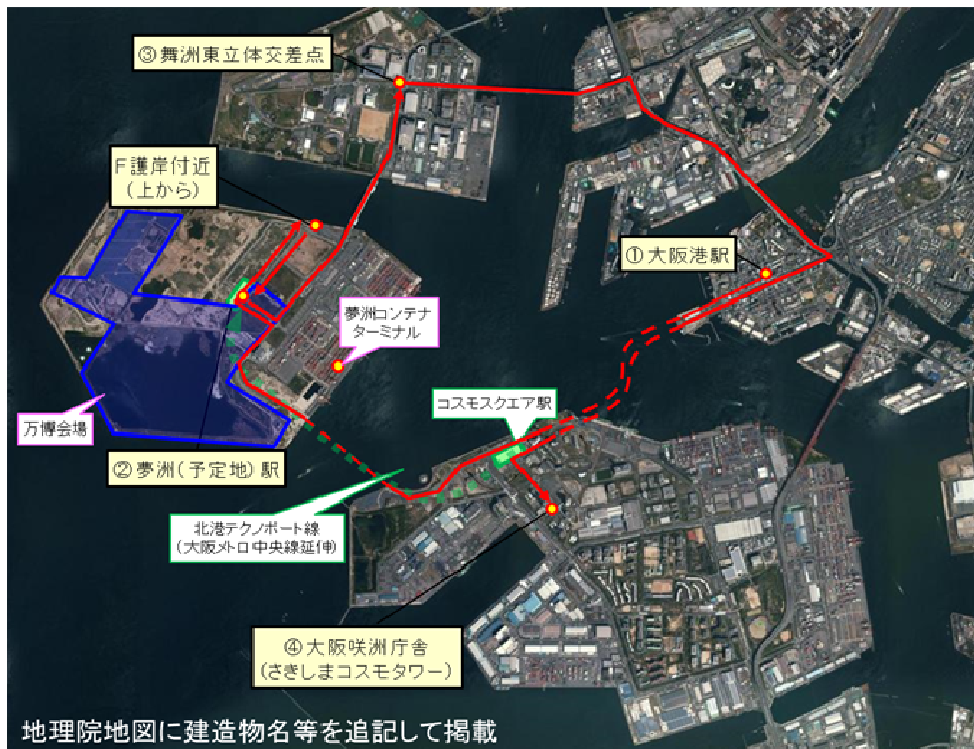
10:00 明石海峡大橋通過

11:10 フェニックス用地をフェリーの上から眺める。

11:15 大阪港着岸 11:15 着岸後下船+解散

<9月27日(月)>

- 13:45 ①大阪港駅集合 同発 (バスにて移動) 15min 【車内で港湾政策及び大阪港の概要説明】
- 14:00 ②夢洲F護岸付近 着 【夢洲F護岸 ご視察】 5min  
※舟運・遊覧船等の利用を想定した浮棧橋の整備を予定している地点のご視察
- 14:05 ②夢洲F護岸付近 発 (バスにて移動) 5min
- 14:10 ②夢洲駅(予定地) 着 【夢洲駅(予定地)ご視察】 10min  
※北港テクノポート線延伸部にて建設中の駅舎のご視察
- 14:20 ②夢洲(予定地)駅 発 (バスにて移動) 10min
- 14:30 ③舞洲東交差点 着 【舞洲東交差点付近のご視察】 5min  
※夢洲地区における国際物流拠点と国際観光拠点の両立(円滑な物流と人流の両立)を図っていく上で重要な交差点の改良事業(立体交差化)予定地のご視察
- 14:35 ③舞洲東交差点 発 (バスにて移動) 10min
- 14:45 ④大阪咲洲庁舎(さきしまコスモタワー) 着



- 9月28日(火)16:50に「志布志港旅客ターミナル内1Fロビー」にお集まりください。
- 当日は、フェリーさんふらわあの船内デッキに移動し、船上から志布志港を俯瞰しつつ、志布志港の役割の説明を行いたいと考えております。(さんふらわあ志布志店にも事前に了承済みです)
- 集合場所から船内デッキ上での移動時間を含めて、説明時間として16:50~17:30の時間を頂きたいと考えております。







大阪万博予定地



鹿児島散策



明石海峡大橋



# 参加者アンケート

## 内容

大阪万博地地下鉄駅建設、アクセス道路拡張・建設、栈橋建設など、万博に向けた動きについての感想.....	6
大阪港の機能についての感想.....	8
さんふらわあの取り組みについての感想.....	9
さんふらわあの船内及び食事、大浴場など設備・内容についての感想.....	11
志布志港の機能についての感想.....	12
"鹿児島市を散策しての感想・鹿児島市観光の魅力とは？.....	14
クルーズ・フェリー体験・インフラ施設など、今後のゼミ視察企画についての意見や要望.....	15

## 大阪万博地地下鉄駅建設、アクセス道路拡張・建設、栈橋建設など、万博に向けた動きについての感想

1. 大阪港周辺の開発が知らないうちにかなり進んでいて、驚いた。動く大きな橋や、Society 5.0 を体験できるエリアなど、子どもの頃に想像していたような未来がすぐそこまできているように感じた。当初はただの海だったところに巨大な施設ができるように、何も無いところからいろいろな可能性を考えながら建設計画を建てるところに、土地開発の偉大さを感じた。
2. 第このような計画を目にして説明を受けるのは初めてだったので感動しました。しかし、色々と考えていくうちに、コンテナを積んだトラックで渋滞していた万博予定地前の交通状況は、橋に各1車線増やただけで本当に万博に対応できるのかという疑問が生まれました。また、浮栈橋建設について、万博が終わったら IR へのアクセスに使うのかなと思っていましたが、IR 用地に客船が停まることのできるような岸壁を作るといったお話があったので、万博が終わってしまったら浮栈橋はどう活用されるのだろうと疑問に思いました。
3. 国際的なイベントを開催するにあたり、交通アクセスの改善や、栈橋建設、地下鉄の延伸など、様々なことを考慮に入れる必要があるのだと実感しました。様々な企業が準備に携わることになるため、地域経済の活性化にも一役買っているという側面もあるのではないかと、思考を巡らせることが出来ました。
4. 鉄道、交差点の立体交差化、車線増加、栈橋建設と、港周辺のインフラについて、本当に多様な事象が絡んでいることを理解しました。また、デジタル化や AI によるコンテナ移動の時間短縮化もとても興味深かったです。特に、あれだけの数のコンテナを、トラックや行先を間違えることなく処理する仕組みについてもっと学びたいと思いました。
5. 万博のためだけに施設をつくるのではなく、万博後も利用できるような施設をつくらなければならないのが難しいなと思いました。計画工程表を見たところ、とても綿密な計画が立てられていましたが、どのように計画を立てていくのか、一つ一つの工事の予算をどう立てていくのかが気になりました。
6. 万博開催に向けて進めている鉄道や道路などの交通インフラを間近で見ることが出来まし

た。歩道の車道化や、地下鉄のスペースの事前確保など万博を見越した事前の工夫も数多くみられ大変興味深かったです。ただ、現状でもコンテナを運ぶトラックで混雑している所に、多くの一般客を入れた場合、整備がありつつもやはり想定外に混雑するのではないかと感じてしまいます。

7. 地下鉄建設や橋の拡張の話聞いて着々と準備が進んでいるのだと感じた。夢舞大橋が旋回するには驚いた。街の設計もただのビル街のような作りでなく、近未来的でぜひとも行ってみたいと思わせる。しかし、カジノの予定地と聞いた場所が万博の際には何もないというのはさみしいような気がする。
8. 地下鉄駅や道路、栈橋など万博用の港湾インフラ現場の最前線を見学できるという機会は大変貴重で、とても勉強になりました。個人的には、関空や神戸港と大阪港を結ぶ船を発着させる栈橋から地下鉄新駅までの距離が少し離れており、この間のエリアをどのように結ぶのが気になりました。とても貴重な体験をさせていただきありがとうございました。
9. 夢洲を、2025年の万博だけでなく、その後も国際的な観光地として活用できるよう、予算の中で様々な取組が行われていることを直に見ることができ、非常に良い経験となりました。万博時にコンテナ輸送の渋滞問題をどう解決するのか（道路拡張以外にさらにどういった方法をとるのか）今後もチェックしようと思います。
10. 万博に向けてこのような整備が進められていることを全く知らなかったため、非常に興味深かったです。特に、地下鉄の駅の建設については、想像以上に大規模で、一つ一つの工程に長い時間がかかるものであることに驚きました。他の整備については、道路の拡張によって歩道がなくなることが示されていましたが、それは歩行者にとって不便にならないのかと気になりました。逆にもし普段の通行人が少ないなら、他の道路でも歩道の規模を縮小することも検討できるのではと感じました。
11. 初めて万博関連の建設予定地を見学しましたが、辺り一面広大な砂地でスケールの大きさを感ぜるとともに完成後の万博施設を自分の目で見てみたいと思いました。トラックが渋滞する地域で万博が開催されるため、道路拡張と地下鉄建設、船舶による輸送で国内外の多くの旅客に対応できるのか、物流への影響が気になりました。また、万博後、IR施設が建設される予定ですが、誘致が成功して大阪が益々発展していく様子を見てみたいと思いました。
12. これほど大きな規模の計画が、当たり前なことではあるが、予定通りに2025年には万博会場として完成するというのに驚いた。また、視察を通して、2025年には大阪万博が開催されることを実感し、とてもわくわくした。万博会場付近の道路は常に混雑している印象だったので、工事によりどれほど緩和されるのか、ということを見てみたいとも思った。
13. 地下鉄建設やアクセス道路の拡張・建設が、いかにコストがかかり地道な作業であるかを理解しました。夢洲浮栈橋から姫路や淡路島、四国への航路を誘致することでしたが、どれほどの需要が見込まれるか疑問が残りました。また、万博会場には緑地エリアや森が作られるようで、万博終了後も自然に触れられる憩いの場として利用されると、より豊かな大阪になるのではないかと思います。
14. 不参加により未回答
15. 万博に向け建造物の初期段階を見ることができたのが非常に有意義だった。地下鉄の延伸や栈橋建設など、万博に関わらず今後の人々の交通手段選択に影響をもたらすものも建設予定であるということを知り、興味深かった。万博終了後の土地・建物利用の動向が気になった。
16. 地下鉄駅や栈橋建設について初期段階の現場を実際に見る事で、スケールの大きさというものが肌で感じられ、とても貴重な経験になった。立体交差化による交通処理や車道幅拡

張計画などについては、万博に向けてしっかりと考えられた上でプロジェクトが進んでいるのだと認識させられた。

## 大阪港の機能についての感想

1. トラックで運ぶよりも、CO2が削減できることは初めて知った。また、港の役割として、物流だけでなく、離島の住民のための「人流」や、災害時における輸送などの「防災」があることを知り、港の重要性、必要性を実感した。中でも大阪港が日本の海のハブとして有数の港であることはこの機会がなければ知らなかった。様々な社会問題を考える上で、自分の視野を広げることができてよかった。
2. 港湾を利用する経験はほとんどなく、機能についても知る機会があまりなかったので新鮮でした。特に、港(水運)が災害時に人々の命を守るインフラであるということは考えてもみませんでした。今まで、防災を一つの独立した分野として捉えていましたが、平時の他のインフラと組み合わせるなどして即座に対応できる体制を整えることが重要であると感じました。
3. 想像しているよりも港の役割がとても重要だということがわかり新鮮でした。輸入・輸出の拠点、フェリーなどを誘致し観光拠点となるほか、港から物品を運ぶ企業や、物品を仕入れるスーパーや店などにとっても、重要な役割を果たしていることを知ることが出来て、勉強になりました。
4. 日本やアジアの重要拠点であることがわかりました。大阪港については、現在ではアジアとの貨物量がほとんどを占めていることを知り、驚きました。この点については、アメリカよりもアジアの方が、重要な相手である点は、今後に活かせそうです。今後は国際的な観光にも多くの力を注いでいくということを知り、これからの大阪港が楽しみになりました。
5. 大阪港の役割を考えるにあたって、関西圏の空港とのつながりが欠かせないと感じました。現在、大阪港の取引はほぼアジアが相手だということでしたが、アジアとの貿易において、大阪港がほかの港に比べて優っている点があるかどうか気になりました。職員の方が、インバウンドはモノ消費からコト消費へと変化しているため、ただ観光地があるだけではなく大阪でどんな経験をしてもらうかが重要になってくるとおっしゃっていたのが印象に残りました。
6. クルーズ船やコンテナ船など、人・物の多くが大阪港を通じて運ばれていることがわかりました。特にアジアとの結びつきが強く、貿易では9割以上であり、国際フェリーも釜山、上海への便が週一便以上あります。距離など地理的な面もあると思いますが、関西との文化的、歴史的なつながりも見取れ、大変興味深いと思いました。
7. 輸入、移入が輸出、移出量を大きく上回っているのは、大阪に人口が集中しているため、消費が多くなるからだろうか。太平洋沿岸の各国と結びついている。貿易額はコロナ禍においてもほとんど変動がない。埋立地がどんどん増えているとなると、船がその中を通らなくてはならないため、港の機能も埋立地方面に移動させた方がいいのではないかと。
8. 大阪港がたくさん貨物や人員を輸送している様子を、実際の港湾担当者の方の説明を聞きながら視察できたことは、大変勉強になりました。万博に向けてもっと人を迎え入れたいと仰っていましたが、この貨客用の船が増えることによって、本来大阪港の出入りの多くを占めている貨物用の船に混雑や混乱が起きるのでは無いかと少し気になりました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。
9. 大阪港が、国際的にも、日本国内の物流拠点としても、非常に大きな役割を担っていることを学びました。夢洲浮き橋ができ、関西国際空港と大阪港が接続できれば、海外の観光客が関西を旅行する際に、海上交通も鉄道とならぶ交通手段になるのではないかと思います。



- た。
10. 当初、あまりフェリーなどの旅客船が寄港するイメージを持っておらず、実際、大阪港は貨物輸送が主となっていると感じました。しかし、大阪という大都市に近い港であることを生かして、旅客輸送や港湾周辺の観光地化を強化することで、新たな機能を有することができる可能性があるのではないかと感じました。貨物輸送に支障のない範囲でそのようなことが進むことを期待したいです。
  11. 大阪港が神戸港と共に西日本の物流拠点として重要な役割を果たしていることを知りました。海外の港と競争し、日本に寄港する貨物船を増加させるため現在もコンテナターミナルの整備やデジタル化改良工事が行われているとお聞きし、国際競争に勝ち抜くことの厳しさを知りました。
  12. まず、私は大阪出身であるが、これまで大阪港が資料に書いてあるほど大きな役割を果たしてきたことを知らなかったのが、驚いた。そして、次にトラックの渋滞緩和のために港湾でデジタル化が進められていることにも驚いた。最後に、大阪市のマークが濔標であり、深く水運とかかわってきた歴史があるのに、それらに関して知見があまりなかったのが、深めていこうと思った。
  13. 大阪港に行ってみて強く感じたのは、コンテナターミナルまでの渋滞の深刻さです。以前、東京港でもトラック渋滞の問題が深刻でドライバーの負担になっているという話を聞いたことがありました。実際に渋滞を体験してみると、毎回仕事のたびにあの渋滞に巻き込まれるのは大きなストレスだと感じました。港の国際競争力強化も重要ですが、それを担う労働者一人ひとりの環境をまずは整備する必要があると思います。
  14. 大阪港周辺で常に貨物を載せたトラックが行き交っていたり、それぞれの埋め立て地に貨物が大量にある様子を目たりし、物流の要である大阪港の役割の重要性を肌で感じる事が出来た。アフターコロナの物流や人流は、地理的に近い場所にある国とのやり取りから活発になっていくのではないかと考える。そのような中で対アジア圏に強みを持つ大阪港の役割はより一層大きくなるのではないかと考える。
  15. 国内の物流機能の一端を担っている非常に重要な港であると実感することができた。特に国内向けの貨物が大きな割合を占めており、港の機能維持が私たちの生活にとっても不可欠であると感じた。ただ、物流施設に至るまでのルートが限られていることもあり、トラックの渋滞が大きな課題となっていることがわかった。
  16. 大阪港の外貨貨物の9割近くがアジア諸国に関連しているということは初めて知った。貿易の観点や規模感からも、非常に重要な港であると認識させられた。また、ターミナルによって様々な役割や特徴があって面白かった。

## **さんふらわあの取り組みについての感想**

1. フェリーをインフラの一部と捉え、快適に過ごしているうちに目的地へ着く、というのは他のインフラにはない魅力だと感じた。また、私たちが実際に志布志という町を訪れ、夏の思い出を作ることができたということは、フェリーが地方創生の担い手であることを実感させてくれた。フェリーだからこそ行ける場所があり、フェリー内でしたこととともに、その場所が思い出に残ると思う。
2. 船舶輸送の方が地球環境に良いということは知っていましたが、トラックドライバーの労働環境にもメリットがある取り組みが存在することを初めて知りました。利用状況や運送会社にとってのデメリットが気になります。また、さんふらわあではテープ投げが行われることもあるとのことのお話でしたが、今回は体験できず残念でした。
3. お客様により快適に利用してもらうために、ペットと乗船できるように専用の部屋を設

けたり、家族連れ用の部屋を設けたり、プライベートな空間をきちんと確保したりと、素敵な取り組みをたくさんされているという印象でした。また、宝塚市や志布志市とも連携して地域を盛り上げようとしていて、行政との連携も図っておられるのだとわかり、興味深かったです。

4. カジュアルクルーズという考え方がとても勉強になりました。コスト低減と期間の短縮化は、まさに気軽に利用できることを促進しており、それが大衆の需要にもマッチしているというのは、とてもうまくいっているなと思います。また、電車やバスなどの他の交通機関とのセットも取り入れるということは、拡大と利用しやすさのために適していると思いました。
5. 旅客用と貨物用で異なる広報をしているところが興味深かったです。対象を絞って様々な種類の客室を用意している点も興味深かったです。クルーズとフェリーそれぞれのいいところ取りをした「カジュアルクルーズ」というコンセプトが面白いと感じました。実際に船ということのを忘れるくらい豪華で非常に楽しめました。
6. 「カジュアルクルーズ」という新しい船旅の様式は非常に興味深さを感じました。私自身、船と言えば雑魚寝をイメージしており、僕自身もそれを想像してきましたが、意外にも設備が豪華で大変驚きました。このドレスコードもなく、それほど高額でもない新しいスタイルは、船に乗ることを大衆化していく中で重要な動きであると思いました。
7. 弾丸クルーズの考えがとてもいいと思う。動くホテルとはまさにそのまま、電車や新幹線が止まっている時間に移動できる、しかもそこで睡眠がとれるというのは観光の新しい手段としてどんどん広まっていくような気がする。志布志から無料バスが出ているのは、貨物のついでに観光客を運ぶ手段としてとてもいいと思った。
8. 不参加により未回答
9. フェリーを、輸送のための船として見たことはあまりなかったのですが、さんふらわあの説明を通して、フェリーを通じて物品を輸送することのメリットをたくさん知りました。資料によると、船内イベントとしてもタカラジェンヌによるショーなどが行われていたようで、新型コロナウイルスの感染が収束したあとのようなイベントを船内で開催していくのか気になります。
10. 当初はさんふらわあという名前だけは知っているという程度で、旅客輸送がメインのフェリーであると思っていました。そのため、貨物輸送を積極的に行なっているということを知って驚きました。通常のクルーズほど高くなく、手頃な値段で快適な船旅を楽しむこのような取り組みは、より幅広い世代に需要があると感じます。大阪や神戸といった大都市から出港しているので、もっとPRを強化すれば、より多くの人に利用して貰えるのではないかと感じます。
11. 船内でコロナ対策が行われており、安心して旅行できました。カジュアルクルーズを目指し、個室数の増加や船内でのイベントを企画するなど乗客を楽しませる取り組みを行っていることを知り、これまでフェリー旅行をしたことがない人へのイメージ向上に繋がると感じました。また、フェリーの主な役割が貨物輸送であり、温室効果ガス削減やドライバーの労働環境改善に寄与するモーダルシフトにさんふらわあが取り組むことは今後の日本の物流にとって非常に重要であると感じました。
12. しっかりとほかの移動手段とメリットが区別されていて、フェリーにしかないメリットがよくわかる資料だった。また、2023年春就航予定のLNG燃料フェリーに関する資料を拝見して、新しくできるフェリーは環境にも優しく、快適性も上昇しているとのことなので、新しくできるフェリーに早く乗りたいと思った。
13. トラックドライバーがフェリーを利用することにより、休憩時間ができてよりよい労働環境になることは、とても良いことだと思います。ただ、資料になくて気になったのが、

積載率です。乗せるトラックを増やしていけるのか、もう満杯に近いのか、現状を知りたいです。

14. ゼミに入る以前はクルーズは自分にはあまり親しみの無い世界のものだと感じる事が多く、そのような方は他にも多くいると考える。さんふらわあは家族で乗船しやすいように子供向けの部屋があったり、ペットを飼っている方向けの試みがあったり、クルーズの「敷居の高さ」を軽減するような取り組みが種々為されていると感じた。またコロナの影響が続く中で、安心安全な航海を日々模索している様子も伝わった。
15. 貨物と人を同時に輸送することで、物流という社会インフラを支えると同時に各地の観光に寄与できるということがわかり、たくさんのニーズを満たすことができる取り組みは有意義なものであると感じた。これまでのフェリーの概念を覆すきれいな船内で、今後も需要が増加して行くのではないかと感じた。
16. 運送業者のフェリー活用が、労働環境の改善になるという視点は、今回お話をしていたくまでなかった。実際にフェリーに乗って、ドライバー用の部屋や利用されている方の姿をみて、確かに労働環境の改善に貢献しているように思えた。

## さんふらわあの船内及び食事、大浴場など設備・内容についての感想

1. まず船内のデザインがおしゃれで、中央の吹き抜けや、丸い窓が海の開放感を感じさせてくれた。ロビーに座るスペースがたくさんあり、動く景色を見ながら過ごせるのも良い点だと思った。部屋も様々なタイプがあり、違う部屋にも泊まってみたいと思った。食事のバイキングは食べたいものが一通り揃っていて、肉から魚までいろいろ食べることができて満足した。
2. 乗船せず、船内を見学させていただきましたが、陸にあるホテルとほぼ変わらない設備に驚きました。窓があまりきれいではなかったのは掃除が大変なのと海上を走っているとすぐに汚れてしまうからなのかなという印象を持ちました。私はペットを飼った経験がないので、ペットと旅行したいという方が利用される部屋やドッグランを見ることができて興味深く感じました。
3. 少ない人員で、高いクオリティの食事やお客様へのサポートをしている点がとても素晴らしいと思いました。具体的には、ゼミのメンバーが船酔いをしてしまった際に、少しでも揺れが軽減される部屋にということで他の部屋を使わせていただいたことです。また、船上であれほどしっかりしたお風呂には入れると思っていなかったのも、そこも驚きました。
4. トイレがきれいで、船内について悪いと思う点はありませんでした。ウォーキングできる場所があればもっと健康的なのかなと思います。(甲板がその役割かもですが) 食事についてはとても満足です。自分にとっては十分でした。大浴場は、景色がもっときれいに見えたら良いと思います。人が出られない程度の外をダイレクトに見れる小窓でもあれば最高です。Wi-Fi が不便に感じました。
5. 食事も大浴場ももちろん楽しめましたが、甲板からの景色が最も素晴らしかったです。星を見れなかったのが唯一の心残りです。パブリックスペースはソファや自販機など充実しており、くつろぐことができました。台風の影響もあり船酔いがしんどかったのですが、そのおかげで復路で瀬戸内海を通れたのでよかったです。
6. 船内はどこもきれいで清潔であり、非常に快適でした。食事や大浴場も船に乗っているとは思えない程豪華でした。イベントや酒類の販売などが停止されており、残念でしたがそれほど感染対策が徹底されているということであり、その点でも安心できました。個人的にはスーツケースの鍵が壊れた際に、レセプションの方にお世話になりました。ありがとう

ございました。

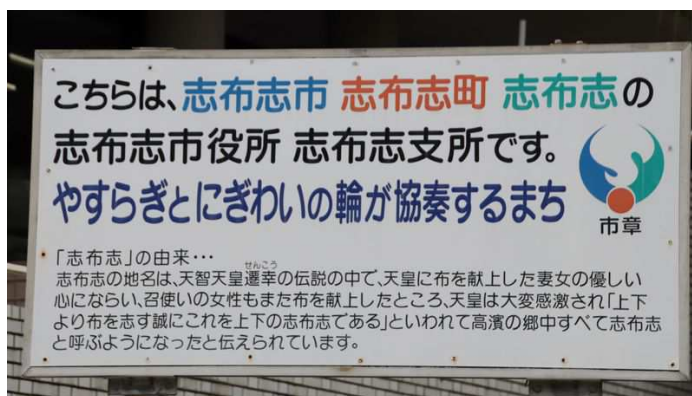
7. 食事は美味しかったしバイキングだったので気持ちとしても嬉しい。しかし、廃棄も多くなってしまおうと思うので夜だけでもいいかと思う。今回は波が強く仕方なかったが、夜に甲板に出て星空をみたかった。周りに光がないのでとてもきれいに見えるだろうし、それだけで人も呼べるのではないか。wifi が弱かったのが少し残念。
8. 不参加により未回答
9. 船上での宿泊が初めてで、船上でこれほど豪華な生活ができることに驚きました。食事の種類も豊富で、大浴場も適度な広さで大満足でした。夜に甲板に上がることができず、景色を楽しむことができなかつたのが少し残念でしたが、波が落ち着いているときにまた乗船したいと思いました。
10. まず、設備については想像していたよりずっと綺麗でした。食事也非常に美味しく、さつま揚げなどの地元の料理を食べられたこともよかったです。ただ、大浴場や売店の閉まる時刻が少し早いように感じました。ゆっくり食事をしていると売店まで見ている余裕がなくなってしまう、時間配分が難しく感じるがありました。あと 30 分だけでも開店時間を延ばしていただけたら嬉しく思います。
11. 船内は広く快適な空間でした。プライベートベットを利用しましたが、プライバシーが確保され船内 Wi-Fi で映画も見ることができたので、リラックスして長い船旅を楽しむことができました。大浴場からの眺めも良かったです。コロナの影響で食事の提供数が少なくなったり、船内イベントが中止となったりしたのは非常に残念でした。バイキングで出た食事也非常に美味しく、特に刺身とカレーが美味しかったです。今回体調不良で家族と連絡をとる際、船内 Wi-Fi の通信速度が遅く外部からの通信が全く繋がらなかったのが改善して頂けると嬉しいです。
12. すべてにおいて本当に満足できるものだった。しかし、私がこうしたらいいのにと感じたことを挙げさせてもらおうと、まず、お風呂にサウナがあればよかったなと思った。もう一点、夜風を感じたいと思ったので、夜も甲板の観望デッキをあけておいてほしいと思った。以上 2 点が私が少し物足りなく思ったことだが、その 2 点よりもはるかに満足が大きかった。
13. 不参加により未回答
14. 不参加により未回答
15. 不参加により未回答
16. 食事は美味しく、非常に満足のいくものであった。ビッフェ形式という事で、意見交換の際、経営の観点から別の形のほうが利益をだせるのではないかという意見もあった。しかし、一乗客としてビッフェが魅力的であったことに間違いはない。大浴場は窓も大きく、綺麗で利用しやすかった。ただ、もう少し利用できる時間帯が長いとありがたいと思った。

## 志布志港の機能についての感想

1. 木材やとうもろこしなど、志布志港の強みとなる品目があり、交通網も整備されるとなると、企業立地のメリットも多くなってくると感じた。国内の主要な港や、海外ともつながっている点は、縁の下の力持ちのような印象を受けた。さんふらわあが地方創生の担い手という点も考慮すると、フェリーと港の取り組みが、更なる開発につながると思った。
2. 不参加により未回答
3. 志布志港から九州全域に飼料を輸送していると聞いてとてもスケールが大きく感じられました。地方にある、こじんまりした港というイメージが生活基盤を支えてくれている港へ

と、がらっと変わりました。さらなる工事を計画されているということで今後どのような姿になるのか、とても楽しみです。

4. 国際戦略バルク港湾（穀物）とあるように、特に穀物について重要な拠点であると理解しました。鹿児島、宮崎の畜産を支えるために、港湾整備やインフラ整備がこれからも必要になっていくことが分かりました。また、木材は輸入するものだという固定観念がありましたが、資料を読んで、日本の、他とは質の異なる木材を輸出していることがわかり、とても興味深いと思いました。森（山）が多くを占める地形がこのように活かされていることを知ることができ、考え方が変わりました。
5. 九州の一番南にあり、地理的に有用性が高いと感じました。鹿児島市までもう少し近いといいなと思いましたが、近いうちにもっと短い時間で鹿児島市まで行ける経路ができるということで、ますます重要な役割を果たしていくのではないかと思います。鹿児島港にはない、志布志港の強みが気になりました。
6. 志布志港の周りには大きな商業施設や住宅街はなく、人が盛んに往来している様子は見られませんでした。しかし、鹿児島の豚や宮崎の鶏といった畜産をささえる膨大な量の穀物を輸入、積込している様子を間近で視察し、その貨物港としての重要性を実感しました。同じ港でも大阪港とは性格が違い、ほかの港についてもその特色を探りたいと思いました。
7. 木材の取引が盛んで、鹿児島に加えて宮崎から運ばれてくると聞いて納得した。その木材が中国へ輸出されていると知り驚いた。また、飼料を船から降ろす作業も会社によって使う機械が違い、それによってかかる時間が大きく変わってしまうというのもシビアでおもしろかった。
8. 不参加により未回答
9. 志布志港が木材の輸出やとうもろこしの輸入において、非常に大きな役割を果たしていることを知りました。今後さらに大きな岸壁を設置するということがあったので、その役割はさらに大きくなっていくと思いました。志布志市の発展にも志布志港は大きく寄与していると思いました。
10. そもそも志布志港について全然知らなかったため、とうもろこし等の飼料が多く出荷されていることに驚きました。周辺環境などから、大阪港以上に貨物輸送のための港であるように感じました。立地などからも、貨物輸送において非常に重要な役割を果たしていると感じました。志布志港を単体で観光地化するのはなかなか難しいように感じたため、貨物輸送を強化しつつ、さんふらわあのように、貨物と旅客を同時に輸送する形で来港する人を増やせたらいいのではと思いました。
11. 志布志港が国際的な貿易拠点であり、飼料や木材の取り扱いにおいて重要な役割を果たしていることを初めて知りました。志布志は鹿児島市内から離れていて自然豊かな場所ですが、港を中心に高速道路の整備や企業進出が進んでおり、港湾が地域経済発展や雇用創出に貢献していることを知りました。
12. この視察を行う前の私の「志布志港」に対する知識はほぼ皆無で、志布志って、テレビで紹介されていた何回も志布志が出てくるところというイメージしかなかった。しかし、いざ視察を行ない、日本の食糧、世界の木材を支える重要な港であることを知った。こんなにも大事な港を知らなかったのも、何か申し訳ない気持ちになった。



13. 不参加により未回答
14. 不参加により未回答
15. 不参加により未回答
16. 旅行としてのニーズを増やすことは、課題の一つとしてあると思うが、物流拠点としての重要性は認識させられた。特に、成果物、農産物、畜産物が取引されていることは全く知らなかった。また、フェリーにはたくさんのコンセントが備え付けられているという事で、冷蔵などの観点から相性がいいのがわかった。

## 鹿児島を散策しての感想・鹿児島市観光の魅力とは？

1. 志布志から鹿児島市へ向かう道中は茶畑が広がっていて、イメージ通りの鹿児島という感じだったが、鹿児島駅に着くと高い建物もあって、予想以上に栄えていた。鹿児島市観光の魅力とは、雰囲気であると感じた。車道の幅が狭く、路面電車も通っており、南国っぽい暑さの鹿児島は独特の雰囲気だった。少し港側に近づいていくと桜島もあり、その予想以上の巨大さが印象に残った。
2. 不参加により未回答
3. 食事がおいしいことはもちろんなのですが、町のいたるところに、歴史上の出来事を表す像が立っていて、歴史も学ぶことが出来る場所も鹿児島の魅力だと感じました。また、路面電車が走っている都市は日本でも珍しいので、それに乗ることが出来る場所も鹿児島観光の魅力だと思います。
4. 鹿児島市観光の魅力は2点あります。一つ目は、路面電車です。調べてみると意外とあって驚きましたが、それでもなお珍しさはあると思います。長崎は、港や坂との兼ね合いによる良さがありますが、鹿児島には、芝生を植えた緑の軌道もあり、とても美しいなと思いました。二つ目は、幕末の銅像たちです。歴史好きの中でも幕末は特に人気があるため、改革の原動力の一つである薩摩という地として、魅力的であると思います。
5. 西郷隆盛像と大久保利通像以外にも、町の至るところに時標という形で像があり、幕末～明治初期という時代の変わり目の歴史を感じながら散策できました。ビルが少なく自然に囲まれているのが大阪とはまた違う魅力だと感じました。黒豚ラーメンがとてもおいしかったです。
6. 9月下旬にしては日差しが強く南の気候を感じました。鹿児島市内は、鹿児島中央駅を中心に商店街等歩いていくことのできる多くの施設があり、また路面電車やバスなどが発達しており非常にアクセスしやすい都市だと感じました。黒豚やしろうま、地酒（芋）などの食と、明治期の偉人の出身地という歴史という二つの側面が観光のキーとなっていると思います。
7. 西郷隆盛像やシロクマのかき氷という全国的にも有名で人を集める目玉があるのはとても羨ましい。そこに路面電車というレアな移動手段が確立されているので、移動まで楽しめるのは素晴らしいと思う。駅の近くに大きな商店街があることでお土産も買うことができということなすだ。
8. 不参加により未回答
9. 鹿児島中央駅と、繁華街である天文館が路面電車につながっているため、観光客にとっては繁華街にアクセスしやすい、楽しみやすい街の構造をしていると思いました。天文館の中には現在開発中の土地もありましたが、そういった開発を進めて天文館がより賑やかな商店街になることはもちろんですが、加えて、中央駅から天文館までの道に、(路面電車だ

けではなく) もっと観光客が楽しめるような仕掛けがあると、より魅力的な街になると思いました。

10. 初めての九州だったため、全てが新鮮でした。あちこちに明治維新に関わった人たちの像などがあり、路面電車も相まって、町中の景色が普段とは大きく異なり、非常に楽しかったです。しろくまや鹿児島ラーメンなど、食べ物も関西にないものを食べることができ、九州の食べ物のおいしさを知ることができました。鹿児島市観光の魅力は、明治維新に触れられることと、美味しい食べ物にあると感じました。
11. 市内には歴史関連、特に明治維新に係る人物の銅像や施設が多数存在し、歴史ある街並みを感じることができました。また、市内から少し足を伸ばせば桜島を眺めることができ、鹿児島に来たことを実感しました。車で観光しましたが、交通量も多く市内は活気がありました。ご当地名物のしろくまを食べましたが、美味しかったです。滞在時間がもう少しあれば、ドライブがてら名所観光もしてみたかったです。
12. 一度鹿児島に行ったことがあるのだが、その時は鹿児島の都市部には行かなかった。また、フェリーで志布志港に着いたとき、見渡す限り高いビルなどがなかったのも、鹿児島は田舎で鹿児島市もこんな感じかもと思い、少し気落ちしていた。しかし、実際はそんなことはなく、今回の旅行では楽しみ切れないほど魅力的な観光地がたくさんあった。なので、次は今回よりももっと時間を確保して、鹿児島に旅行しようと思った。
13. 不参加により未回答
14. 不参加により未回答
15. 不参加により未回答
16. 西郷隆盛をはじめとした偉人の銅像や桜島など、徒歩でみて回れるものが多数あり、簡単な散策でも飽きが来ず楽しめるところが一つの魅力であると感じた。また、お店やショッピングモールもあり、時間があれば食事や買い物も楽しめるのではないかと思います。

## クルーズ・フェリー体験・インフラ施設など、今後のゼミ視察企画について

### の意見や要望

1. 今回のような、学びと遊びが両立されたような企画はとてもよかったです。来年から自分たちのテーマを探すにあたって、視野を広げるという点で、いくつかの企画で様々な分野に触れることができれば良いと考えています。また、就職活動においても、将来興味のある業界や仕事を考える上で、役に立ちそうな情報が得られると幸いです。
2. 交通インフラは最近興味を持っている分野で、とても楽しかったのでまた視察したいです。今回のフェリーでは、乗用車やトラック(コンテナ)の積み込みを見ることができなかったので、危険なのかもしれませんが今後見ることができたらいいと思います。
3. 各施設に対して、その施設の方から説明をしていただき、港の役割や行政の役割などを知ることが出来て大変勉強になりました。一点だけ要望させていただくと、鹿児島観光をする時間が短くて、あまり鹿児島を満喫できなかったのもう少し時間を長くっていただけると嬉しいです。
4. 今後のゼミ視察企画について、私は北海道へ視察に行きたいです。理由の一つ目は、今後北海道という地が重要になってくると言われているためです。今回は港を見ましたが、北海道の港についても、スエズ運河ではなく北極海航路が中心になってきたときに重要になるためです。また、外国から注目されているというニセコや、広大な農業地、宇宙産業など様々な勉強したいことが詰まっていることから、どこかを見学、学習したいと思います。

5. 今回、現場の方から直接お話を聞くことで課題感などよく伝わったので、今後の企画でも現場の方の声を聞く機会があればよいと思いました。自由時間が多かったため、ゼミ生と話す時間が沢山あり、さらに仲良くなれて、大変良い思い出になりました。コロナがどうなるかわかりませんが、春休みの海外クルーズぜひ行きたいです。
6. クルーズ・フェリーは今後も様々な航路、港で行ってみたいと思いました。ただ、今回は、船内で楽しむというだけでなく、寄港地で港の役割や、産業との結びつきについて教えていただくことで、船と自らの関係性を考え直すことが出来ました。また、一般の人が入れない現場などの視察は非常貴重だと感じ、他の場所も見てみたいと感じました。
7. 普段の観光などではいけないところにいつてみたい。ゼミという機会がなければ今回のように万博開催予定地を訪れることはできないと思うので、個人的には空港の裏側や自衛隊の演習場などに行けると嬉しい。また、ゼミ生同士で交流が楽しかったのでできれば泊まりで行きたい。
8. インフラ施設を見学することは、私が赤井ゼミに入ってとても楽しみにしていたことの一つだったので、前回神戸港視察が延期になったことのリベンジができてとても勉強になりました。今後も港湾等の大きな箱物施設の視察や、行政が主体となって行っているサービスの視察の機会を頂けると嬉しいです。個人的には、三林班の一員としてPFIに関連する施設の視察があるととても参考になります。
9. 今回は、クルーズ船のようなフェリーということだったので、やはり本物のクルーズ船に乗ってみたいと思いました。個人的には、鉄道駅やリニア中央新幹線に関する施設に視察にいつてみたいです！また、コンパクトシティや、現在再開発中の街なども探索してみたいです！
10. 九州に行けたので、今度は東日本や北日本に行ってみたいです。また、港湾だけでなく、空港や駅の見学をしてみたいです。水道や電気など、交通インフラ以外のインフラ施設の見学も、可能であれば行ってみたいです。また、今回のように朝がゆっくりだと準備もしやすく、時間に余裕を持って移動できたので、集合がお昼頃だと非常にありがたいです。
11. 万博予定地や港湾見学など日常では見ることのできない施設を見学させて頂き、とても有意義な視察でした。赤井ゼミでなければ経験できないことを沢山経験させて頂き、感謝の言葉しかありません。人生初のフェリー旅行は船内施設も充実していてとても楽しい旅でしたが、移動時間が長く鹿児島観光の時間が短かったのは非常に残念でした。今後のゼミ視察では論文テーマに沿った施設見学の他にも、世間の注目を集める施設の見学ができれば見聞が広がりより一層楽しいと思います。また、大学卒業までにゼミで本格的なクルーズ船に乗船し、非日常の世界を体験出来れば嬉しいです。
12. 赤井ゼミの「よく遊び、よく学ぶ」が体現された旅行だと思った。中でも、大阪万博の視察をできたことは大きな経験になったと思う。また、「遊び」に関しては、フェリー内でも自由時間が多く、とても楽しかった。一つ物足りなかった点を挙げるとするなら、鹿児島を堪能するには、鹿児島観光の時間が短すぎたことである。(弾丸フェリーなので仕方ないが…)しかし、それを考慮しても、本当に満足できる旅行だった。
13. 実際に訪問してみることで、現場の人がどう働いているのかを見ることが出来て、貴重な経験となりました。物流つながりで、空港も見学してみたいです。赤井ゼミであるにもかかわらず、一度も船に泊まったことないので、卒業までに泊まりたいと強く思いました。
14. やはり私の学年は乗船してどこかへ行くという経験をしている人が一人もいないので、卒業までにクルーズやフェリー体験に参加できることを楽しみにしている。また、今年自班で空港についてのテーマを模索していた時期があったことから、インフラ・物流の手段としての空港に関して視察が出来たらいいなと感じている。
15. 今後は万博関連施設の建設や IR 施設の取り組みが進行した状態でまた視察してみたいと



思った。また、クルーズ船での旅行には今回行けなかったので、次の機会があれば乗ってみたい。その時には、現地の方でも何か視察ができれば有意義な旅になると感じた。

16. フェリー体験、視察企画はとても満足のいくものであった。また、今回、弾丸旅行ということで、現地滞在時間は短かったが、コロナ禍の状況を考えれば、とても有意義な旅行であったと思う。学部生は皆すごく楽しそうにしていたので、院生のメンバーでもこのような機会があれば交流を深めるという意味でも良いものになると思う。